

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【公表番号】特表2016-505077(P2016-505077A)

【公表日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-539688(P2015-539688)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/52 (2014.01)

C 0 8 L 101/12 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 7/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/20 (2006.01)

C 0 8 K 5/053 (2006.01)

C 0 8 K 5/13 (2006.01)

C 0 8 K 5/41 (2006.01)

H 0 1 B 1/20 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/24 (2006.01)

H 0 1 B 1/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 11/52

C 0 8 L 101/12

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 7/06

C 0 8 K 3/20

C 0 8 K 5/053

C 0 8 K 5/13

C 0 8 K 5/41

H 0 1 B 1/20 A

H 0 1 B 13/00 5 0 3 B

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/24

H 0 1 B 1/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月18日 (2016.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水系媒体に溶解している伝導性ポリマーを含む伝導性ポリマー溶液と、
前記伝導性ポリマー溶液に分散している、カーボンナノチューブ及びグラフェンオキシドシートの混合物とを含み、
前記カーボンナノチューブの前記グラフェンオキシドシートに対する重量比が、 0 . 2

5 ～ 2 . 5 の範囲内である、伝導性インク。

【請求項 2】

前記グラフェンオキシドシートが、前記伝導性ポリマー溶液の総重量に基づいて、0 . 0 0 5 重量パーセント～0 . 5 重量パーセントの範囲内の濃度で前記伝導性ポリマー溶液中に存在する、請求項 1 に記載の伝導性インク。

【請求項 3】

前記伝導性ポリマーが、ポリチオフェン、ポリアニリン、ポリアセチレン、ポリピロール、ポリカルバゾール、ポリインドール、ポリアゼピン、ポリフルオレン、ポリフェニレン、ポリフェニレンビニレン、ポリフェニレンスルフィド、ポリピレン、ポリアズレン、及びポリナフタレン、又はこれらの混合物のうちの 1 つ以上を含む、請求項 1 又は 2 に記載の伝導性インク。

【請求項 4】

前記伝導性ポリマーが、ポリ(3 , 4 - エチレンジオキシチオフェン)、ポリ(p - フェニレンスルフィド)、ポリ(p - フェニレンビニレン)、又はこれらの混合物のうちの 1 つ以上を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の伝導性インク。

【請求項 5】

前記伝導性ポリマーが、ポリスチレンスルホネートをドーブしたポリ(3 , 4 - エチレンジオキシチオフェン) である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の伝導性インク。